

平成30年度 指定管理業務 評価票

りんくう公園	【指定管理者】】ハートフルりんくう	【指定期間】平成30年4月1日 ~ 平成35年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	-------------------	------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)		評価 (S~C)		
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちや地域と一体となったにぎわいづくりとして、5月27日に新規イベント「とっておきの音楽祭」を開催し約600名の参加があった。前夜祭の5月26日には石舞台で映画上映会(りんくうOSOTO CINEMA)を開催し、約180名の参加があった。 ○8月18日には泉佐野市青年会議所と共催し、「水活わーどフェスタinりんくう」を開催し、約1000名の参加者があった。 ○参画している「りんくうまちづくり協議会」主催で9月7日に「クリーンアップりんくう」でりんくうタウンの一斉清掃活動を実施し地域の美化に努める予定であったが、台風21号の影響により中止した。 ○10月28日に「りんくう・関空にぎわいづくり協議会」主催で「りんくうリレーマラソン」を実施した。(ランナー約1400人) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携して新たなイベントを開催するなど、にぎわいづくりに貢献することができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○泉佐野市や近隣に立地する企業と連携し、公園内外での地域活性化イベントを実施している。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>泉佐野市や近隣に立地する企業と連携し、公園内外での地域活性化イベントを実施している点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベント情報等は園内掲示板やミニコミ誌、インターネットを活用して情報発信を行った。 ○巡視で誘導パイプやハートフルゲートの異常の有無について確認を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な媒体を用いて情報発信し、一般利用者に広く伝わるよう努めることができた。 ○誰もが平等に公園利用できるよう、適切にハートフル施設を管理することができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○SNS等の情報更新が早く、来園者に効果的な公園PRができている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>障がい者への配慮や、様々な媒体を用いた公園利用促進のための広報活動は評価できる。</p> <p>さらに、あらゆる立場の人に対する公園の利用促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】 ○駐車場が満車のときはツイッター、フェイスブックで情報提供を行った。 ○レゲイベントやりんくう花火大会などあらかじめ第2駐車場の混雑が予測された場合は、タイムレージを使用して臨時出口を設け、スムーズな出庫に努めた。 ○無料レンタサイクルを行い、11月末までで135件の貸し出しがあった。 ○LOVE RINKu モニュメントのタグの販売場所へのルート地図を、チラシとともに管理事務所窓口に着用した。 ○夏休み期間中、土日祝日とお盆期間は総合休憩所前でミストを噴霧させ、来園者に涼を感じてもらった。</p> <p>○来園者数(H30年4月~11月):337,161人で、対前年比83.1%であった。(H29年度は405,503人)</p> <p>(イベント等の実施回数、参加者数) ・4/22 カプトを折って記念写真を撮ろう 28名 ・5/27 とっておきの音楽祭 ・6/5 多肉植物クリニック 16名 ・8/5 水鉄砲をつくろう 17名 ・8/12 調べよう! 内海のいきもの 18名 ・8/18 水活わーどフェスタinりんくう 約1000名 ・10/18 多肉植物クリニック 4名 ・11/3 炭火で手作りバームクーヘン体験 29名 ・11/8 多肉植物の寄せ植え講習会15名 ・11/30、12/1、12/3 マーブルドリル 51名</p> <p>【自己評価】 ○必要な情報をリアルタイムで伝えられるようSNSを活用できた。 ○子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しめる様々なイベントを実施することができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○無料レンタルサイクルの貸出により、利便性の向上を図り、利用件数が135件に上がった。</p> <p>○公園及び周辺地図の配布や窓口での物販など利便性の向上を図った。</p> <p>○大規模イベント実施時には園路及び駐車場内での事故防止のための誘導の強化に努めるなど、公園利用者の安全確保を継続して取り組んでいる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 無料レンタルサイクルの貸出、公園及び周辺地図の配布や窓口での物販、大規模イベントの際に園路及び駐車場内での事故防止のための誘導の強化、満車情報のSNSを通じた発信、夏期のドライミストの設置など、幅広い利用者の利便性向上の取り組みは評価できる。 引き続き、幅広い利用者の利便性向上に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。) (※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>	<p>【実績】 ○更衣室の有料貸し出しを4月1日より実施し、10月末時点で622人プライダル20件の利用があった。 ○6月からエアソファ・ハンモックの貸し出しを実施し、11月末時点でエアソファ5件、ハンモック3件の利用があった。</p> <p>【自己評価】 ○更衣室の貸し出しは多くの利用があり、一定の収益をあげることができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○更衣室貸出は600件を超える利用があり、利用者ニーズに対応している点で評価できる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 更衣室の有料貸出は600件を超える利用があり評価できる。 利用者ニーズの高い取り組みであることから、さらなる拡張に努められたい。</p>
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>【実績】 ○5月3日、5月4日の音楽の持込イベントは事前にHPや園内掲示等周知徹底を図り、音の苦情なく開催することができた。 ○GWにはBBQの利用が多いため、禁止区域ですることのないよう園内放送等で注意喚起した。 ○他公園での事故情報があった際は、朝礼や回覧等で公園スタッフに周知を図った。 ○7月8日のレゲイベント時に音の苦情が1件あり、すぐに主催者に音量を下げさせ、主催者とともに苦情主に謝罪した。今後は事前に音楽イベントの予定を送るとともに、スピーカーの向きに気をつけるよう指導した。 ○8月13日シーサイド緑地の中建屋で首つり自殺があった際は速やかに警察、消防に出動要請をし、岸和田土木には指定管緊急メールを送り速やかに対応した。 ○8月25日のりんくう花火大会の際は第2駐車場混雑緩和のため、タイムレージを用いて2箇所から出庫させた。 ○りんくう花火大会においては事前に主催者と十分打合せを行い、来場者の安全確保に努めるよう要請し大きなトラブルもなく無事終えることができた。</p> <p>【自己評価】 ○事件があった際は速やかに土木事務所に報告し、情報共有することができた。 ○大規模イベントにおいて、事前に十分に主催者と打合せを行い、事故なく終えることができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○トラブルの予防策や発生時の初動体制の整備と運用が十分であり、来園者の安心安全な公園利用ができています。</p>	A	<p>事業実施計画書、公園管理要領等に定める内容に沿って適切に実施されている。 BBQ地域、レゲイベント、花火大会などにおけるトラブルの未然防止の取り組みは評価できる。 引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>○草地管理では、りんくう花火大会前に除草を終えるなど、大規模イベントの開催時期を考慮し、公園利用に支障のないよう除草時期を調整した。また、シーサイド緑地北側の一部を刈り残し、生物の多様性にも配慮した。</p> <p>○中低木剪定では、シーサイド緑地のユキヤナギを花後すぐに刈り込むなど、花芽分化の時期に留意して剪定した。</p> <p>○松枯れ対策として、マツノダラカミキリによる被害防止のため薬剤散布を実施した。</p> <p>○花壇管理は5月と10月に植え替えを実施した。</p> <p>○9月4日の台風21号により園内で倒木が約200本発生したため、倒木や幹折れ木等の危険木処理を最優先して行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○利用状況や目的に応じたメリハリのある管理を行うことができた。</p> <p>○優先順位を定め、来園者に支障となるエリアから台風による被害木の除去につとめ、早期に園路の通行が可能となった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○イベントの開催時期に合わせた草地管理や、生物との共生を考えた除草の強弱を計画的に行うなど、植物管理と生態系の保護の調和を図り自然環境への配慮と工夫が見受けられる。</p> <p>○台風21号により発生した倒木には、速やかに対応していた。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>イベントの開催時期に合わせた草地管理や、生物との共生を考えた除草の強弱を計画的に行うなど、自然環境への配慮と工夫が見受けられる点は評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>○繁忙期には計画回数以上の清掃を実施した。ゴールデンウィークは9日(4/28~5/6)のうち8日実施し、お盆期間(8/11~8/19)は毎日実施し、園内の美化に努めた。</p> <p>○持ち込みイベントの主催者に対してはゴミの持ち帰りを呼びかけ、アンケート調査時には回答のお礼として、クリーンアップをうたったティッシュを手渡すなどゴミの持ち帰りを推進した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○BBQの利用が多い繁忙期には規定回数(週2回)以上の清掃を実施し、公園の美化に努めることができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○来園者数を見越した清掃回数の設定と、ゴミ持ち帰りの呼びかけなどの啓発活動により、来園者のより快適な施設利用への対応ができています。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)					
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シーサイド緑地のボードウォークの破損箇所を巡視で発見したので阪南港湾事務所へ連絡し、修繕してもらった。 ○GWのBBQ利用が多いときはマナー放送を実施した。 ○遊泳者を発見した際は、遊泳禁止放送、呼びかけを行って遊泳をやめさせ、来園者の安全を確保した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて海岸管理者である阪南港湾事務所と連携し、協力して海岸部の管理を行うことができた。 ○管理対象外区域(マーブルビーチ海側)についても、公園エリアであるとの認識を持ち、利用者の安全確保に努めることができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○港湾局への海岸保全施設等の破損の連絡や管理対象外区域の遊泳禁止箇所での巡視対応を行い、公園及び周辺施設利用者の事故防止のための安全確保に努めている。</p>	A	<p>港湾局との連携や管理対象外区域の巡視など、公園及び周辺施設利用者の安全確保に努めていることは評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○8月12日大阪府立大学の塚先生、学生と協力して環境学習イベント「調べよう！内海のいきもの」を開催し、内海の生き物を観察したり実際に捕まえてもらったり、絵を描いてもらったりした。(18名参加) ○内海の生き物を紹介するポスターを総合休憩所3階に展示した。 ○シーサイド緑地の北側の一部を刈り残し、バッタ等昆虫に配慮した空間づくりを行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪府立大学と連携して、内海の生き物の調査を行い、自然環境学習の場として内海を活用することができた。 ○昆虫など野生生物に配慮した管理を行い、自然環境の維持・創出に努めることができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○大阪府立大学との生き物触れあい体験型イベントを実施し、植物生物の環境学習に取り組んだ。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。大学と連携した取組みを継続していることは評価でき、今後の継続も期待したい。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太鼓橋や石舞台の老朽化した箇所の板替えを実施した。 ○四季の泉の水質検査を実施し、0-157とレジオネラ属菌は確認されなかった。(7/2採水、7/24結果) ○7月から9月末まで週2回、塩化ベンザルコニウム希釈溶液を便所に散布し消毒した。 ○台風21号による倒木処理は園路沿いや利用頻度の高いところから実施。また規模の大きいイベント前にはイベントで利用するエリアを中心に作業を行い、来園者の安全確保を図った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衛生管理を徹底し、来園者の健康被害の防止に努めることができた。 ○台風21号による被害において、園路やパーベキュー広場など優先順位の高いエリアから倒木処理を進めるなど来園者のことを第一に考え復旧作業を進めることができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○夏期の施設衛生検査の実施と健康被害の防止を図り、トイレと水辺の安全対策を十分に行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。夏期の施設衛生検査の実施と水質検査により、利用者の健康被害の防止を図り、トイレと水辺の安全対策を十分に行った点などは評価できる。引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>実績】 ○5/13(日)午後2時20分に泉佐野市に大雨警報(浸水害)が発表されたため非常時体制を配備した。 ○6/13(水)大阪府の風水害訓練に参加し、情報伝達訓練を行った。 ○6/18(月)午前7時58分に大阪府北部で震度6弱の地震を観測したため、非常時体制を配備した。 ○6/20(水)午後5時51分に泉佐野市に大雨警報(土砂災害)が発表されたため非常時体制を配備した。 ○7/5(木)午後6時16分に泉佐野市、田尻町に大雨警報が発表されたため非常時体制を配備した。 ○7/28(土)午後16時8分に泉佐野市、田尻町に暴風警報、波浪警報が発表されたため非常時体制を配備し閉園措置をとる。 ○8/23(木)午後13時43分泉佐野市、田尻町に暴風警報、波浪警報が発表されたため非常時体制を配備し閉園措置をとる。 ○9/4(火)午前4時56分泉佐野市、田尻町に暴風、波浪警報が発表されたため非常時体制を配備し、閉園措置をとる。警報解除後も園内に倒木等で危険な状態であったため、園路確保等安全が確保された後9/9(日)に閉園を解除した。 ○9/30(日)午前6時47分に泉佐野市、田尻町に暴風、波浪警報が発表されたため、非常時体制を配備し公園閉鎖措置をとる。</p> <p>【自己評価】 ○非常時体制には3名以上の人員を確保し、緊急対応がとれる体制を構築し、被害の早期発見、早期対応(閉園措置)を図ることができた。 ○台風接近時には気象庁のHP等から情報収集し、事前に閉園措置に必要な看板等を準備していたので警報が発表された際は速やかに対応することができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○気象警報等発令時の体制構築や本府と連携した災害訓練を行い、組織的な行動が職員の誰もができるようにしており、異常気象時には各回十分な職員数を配置してスムーズな安全確保対応を行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 地震や風水害発生時の適切かつ迅速な対応、ならびに府の防災訓練への協力など、防災安全意識の向上に努めたことは評価できる。 引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】 ○知的障がい者1名を継続して雇用。 ○地元シルバー人材センターを積極的に活用し園内業務に従事してもらっている。 ○10月20日に泉南イオンで行われた「防災フィールドワークキャラバン」に出展し、多肉の寄せ植え体験など来場者に楽しんでいただけるよう努め公園をPRした。 ○台風21号による被害に関連して、9月13日から山側多目的広場を関西エアポート(株)に貸し出し、関空島従業員用の駐車場として190台分のスペースを提供した。</p> <p>【自己評価】 ○大阪府主催のイベントや施策に積極的に協力することができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○防災フィールドワークキャラバンに出展するなど、本府各部署の施策への協力や福祉事業に取り組んだ。</p> <p>○就業支援や府民協働についても本府の政策を理解し、計画どおりの成果が上がった。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 府の企画に積極的に協力している点や、就労支援事業、環境問題について、府の施策へ協力し、適切な管理運営に努めていることは評価できる。 引き続き、良好な管理運営に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	【実績】 ○7月から8月にかけて来園者200人に対して、10月から11月にかけて来園者203人に対してアンケート調査を実施した。 ○全般的な満足度では、満足、やや満足の回答が全体の96%にのぼった。 ○総合評価が1.6であった。 ○売店などサービス施設について、やや不満、不満が37%にのぼり、売店の現状に不便を感じている方が多いと思われる。 ○イベントの種類や数についての満足、やや満足が43%に留まっている。 【自己評価】 ○全体の満足度は非常に高い数値をえることができた。 ○売店は利用状況を踏まえながら、販売品目等の見直しを行い、イベント時にはケーシングカーの導入等を検討する。 ○イベントに関しては周辺地域とも連携し新たなイベント開催を検討するとともに、HPやSNS等を通してより一層広報に力を入れていく。	S	全般的な満足度の評価が「1.6」と高く、各項目においても数値が水準ないしそれ以上となっており、高い満足度を示す結果が得られた。 ○職員の対応が丁寧であるか、についての項目が、特に満足度が高かった。	S	総合的な満足度は良好で、全体に高い評価を得ている。適切な管理運営が行われていると評価できる。 職員の対応が丁寧であるか、についての項目が、特に満足度が高い。 更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	【実績】 ○サービス施設(売店)の満足度が低かったため、総合休憩所の売店営業を開始したが、店内の排水不良や台風による被害のため、思うように営業できなかった。 ○サービス(HPやイベントの案内)に関しては、ミニコミ紙を利用してイベントの案内を行ったり、フェイスブック等を活用してイベントや公園情報の発信に努めた。また、りんくうタウンガイドのHPと相互リンクを貼るなどHPの周知にも努めた。 【自己評価】 ○総合休憩所の売店営業者を決定するなど前年度よりも前進したが、さらなる改善に努めたい。 ○HPやイベントの案内に関しては、さらなる改善の余地があるので、引き続きHP・イベント案内の充実など情報発信の強化に努めたい。	A	サービス施設や、イベント案内に関する満足度向上の取り組みを実施した結果、満足度が向上しており、評価できる。来期はサービス施設の満足度向上に向けた売店営業の充実に努められたい。	A	ミニコミ誌を利用した、イベント案内に関する満足度向上の取り組みを実施した結果、満足度が向上しており、評価できる。来期はサービス施設の満足度向上に向けた売店営業の充実に努められたい。
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	【実績】 ○総合休憩所の活用の一環として、光る絵本展の開催を計画していたが、台風21号の被害で総合休憩所が使用できなくなったため、中止せざるをえなかった。 ○夏の子供向けイベントとして8月18日に「水活わーどフェスタinりんくう」を泉佐野青年会議所と協力して内海周辺で開催し、約1,000名もの参加があった。 ○5月27日(日)に公園スタッフ3名が泉佐野市生涯学習センターへ出張し「多肉植物の寄せ植え講座」を実施し、公園外においても多肉植物を通してりんくう公園の魅力をもPRした。 【自己評価】 ○遊具のないりんくう公園にウォーターライダーやウォーターホールなどのアトラクションを持ち込み子ども達に喜んでもらえるイベントを開催することができた。 ○公園内にとどまらず、公園外においても積極的に活動を展開し、地域に貢献することでりんくう公園を広くアピールすることができた。	S	当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上の事項を実施。 ○地元商工会議所と連携した大規模なウォーターイベントを実施し、来園者を増加させることにより活性化を図った。 ○また、遊具のない公園であるため、イベント時にレンタル遊具を設置するなど、子ども連れの利用者ニーズに応えた点は高く評価できる。	S	地元商工会議所と連携した大規模なウォーターイベントが状況を示した点、遊具のない公園でもイベント時にレンタル遊具を設置するなど、子ども連れの利用者ニーズに応えた点は高く評価できる。 引き続き、新たな取り組みを開発しながら来園者の満足度向上に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【りんくう公園】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 ○台風21号による被害等もあり当初計画より減収であるが、経費節減に努めた結果、収入不足とならず執行できる見込みである。 【自己評価】 ○管理レベルは維持しながら、概ね当初の計画通り予算執行できる見込みである。	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ○管理体制計画にそった管理体制を構築した。 ○繁忙期やイベント時には人員を増員するなど柔軟に対応した。 【自己評価】 ○来園者が快適に安心して公園を利用できるよう運営管理を行うことができた。	A	安全衛生管理の計画と活動を体系的に実施し、刈払機取扱作業への安全衛生教育を適切に行っており、事故防止への取り組みができていた。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	○一級造園施工管理技士1名を配置した。 ○電気主任技術者を保持する(一財)関西電気保安協会へ事業委託した。 ○必置ではないが、より良い公園管理が行えるよう公園管理運営士を1名配置した。 【自己評価】 ○必要な資格者を適切に配置できた。	A	必置義務者が適正に配置されていた。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ○朝礼等で他公園での事故案件の報告や注意喚起を行った。業者に対しても刈払機使用の際、石はねに注意し、安全作業を心掛けるよう指導した。 ○6月24日に公園スタッフが修繕作業中に誤ってハンマーで親指を叩き、爪を割るケガが発生。公園スタッフで情報共有し、作業にあたり予測できる危険を考え、充分注意するよう指導した。 ○6月25日に岸和田土木で行われた安全講習会に公園スタッフ1名が出席した。 ○園内の除草作業を行う際は、園内の行事予定等に応じて、臨機応変に作業エリアを変更するなど安全に配慮した。 【自己評価】 ○事故の再発防止に努めた結果、6月24日以降は事故無く管理運営できている。	B	概ね事業実施計画書の提案などに沿ったが、作業員による作業中の受傷案件が発生し、安全衛生管理が不十分であった。 ・工作機器類の安全対策及び安全作業環境の整備、並びに従業員への安全教育・訓練を再度徹底し、総合的な事故防止策を講じること。 ・併せて、シルバー派遣従業員、JV従業員を含めた全従業員に対する来園者及び従業員の安全確保意識の醸成と共有に努められたい。	A	安全管理の過失は小さく、負傷の度合いも低いですが、労働災害が発生したことは、重く受け止めるべきであり、今後、事故防止に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 ○全構成団体において経営状況に特に問題なし。 【自己評価】 ○指定管理者の継続に影響はなく予定どおりである。	A	法人全体の経営状況に大きな変化はなく、財務諸表から安定した指定管理業務ができています。	A	構成団体の財政状態は良好である。